

青少年の健全育成

★すすめよう青少年の社会参加を

青少年の健全な育成を図るためには家庭教育がその基礎をなすものであり、青少年の自立心の育成を図ることが重要です。

そのためには、青少年の団体活動、地域行事等への参加、加入がより大切であります。

団体活動の目標として掲げている多くに

- ① 青少年の自立性、社会性の涵養
- ② 健康と身体の育成
- ③ 奉仕精神の養成とその実現
- ④ 会員相互の親睦
- ⑤ 団体交流による仲間づくり

現代の青少年は無責任、無気力無関心、無感動のものが多く、また衝動的行動が多いと言われており、その人間性が問われております。

青少年が団体活動に参加することは自主的、協同的行動に習熟することであり、将来、社会人として責任ある立場に立つために必要な体験を幅広く積むという意味で大切であります。

青少年はまた社会と結びつくことによって自己を形成すると共に社会のよき担い手として成長して



いくものです。

青少年の人間形成を考える上で知性、社会性、感動性、勤労などを教える教育的営みが重要であるといわれますが、それが現在アンバランスであり、青少年を利己的閉

夏休み中の大学図書館ご利用について

都留文科大学は、例年のとおり7月9日から9月1日まで、夏休みに入ります。この夏期休暇中に市民の方々及び市内小・中・高の先生方に、大学図書館をご利用いただけるようになっています。

自由閲覧室には冷房が入りまして、涼しいところで専門書に親むことができます。

ご遠慮なく図書館へお出かけください。開館日はつぎのとおりです。開館時間は午前9時から午後5時です。ご都合が合わない場合は、図書館事務室へお問い合わせください。

鎖的な方向に追いやっています。団体活動、社会参加の意義は、こうした閉鎖的な青少年の生活、生き方にくまなく光を当てて、しっかりした自己認識に立ち、主体的に自分のもつエネルギーと創意を生かすと共に仲間や他の世代の人々と連携していく態度を身につけることであります。

団体活動、社会参加は青少年の内面を広げ、深め、夢と希望をもたせ、たくましく生きる意味を獲得させることであります。そのことが社会の活力となり、明るい社会づくりに連なると考えます。

自分の健康は自分で守ろう

市では、市民の健康管理のため成人病の総合検診や、結核住民検診を行っています。

昨年度は受診率を高めるため、従来市役所一会場で行っていた総合検診を七地区、八会場でおこな

い、さらに事前指導（市民に問題意識をもたせたための指導）や事後指導（要精検者対象）などを行いました。受診率は多少良くなったものの、十分とはいえない状況です。

結核住民検診や成人病総合検診を受けない理由として、「健康だから」、「異常を感じないから」、「病気をしたことがないから」、「忙しくて」という人がかなりの割合を占めており、早期発見、早期治療を目的とする検診の趣旨が、市民の皆さんに十分に理解されていないことは誠に残念です。

一度病気になるかかると、もともと体の体には大変な努力がいられます。「自分の健康は自分で守る」ために、健康だからこそ進んで成人病検診を受け、健康の状態をいつもチェックする必要があります。

三十代後半からの中高年令層と呼ばれる、働き盛りの人びとにとって、がん・脳卒中・心臓病などの「成人病」から自分の健康を守ることは、今日最も関心をもちたい問題です。

いそがしい毎日の生活の中で、とかく後回しにされがちで自分の健康管理について、家族でよく話し合ってみてください。地域ぐるみでじっくり考えてみてください。そして本年は市民こそ「健康つるし」実現のため、進んで検診を受けられるよう心がけてください。

なお成人病総合検診をつぎの日程で実施します。

日時 七月三日～五日
七月九日～十二日
午前九時三十分～十二時
会場 都留市役所三階大会議室
申し込みは電話でも結構ですが、多数の方が受診してください。

保健環境課 保健指導係

第七期広報委員 決まる

去る五月三十一日をもって二年間の任期を満了した広報委員は、ひきつづき全員が今後二年間任期を務めることとなり、六月二日辞令交付式が行なわれました。

再任された委員はつぎの方々です。



中大路千代子 志村孝一 鈴木盛義 中村錦蔵 清水正賢